

ほっと通信



全校訪問が終了しました。

今年度の特別支援教育担当は、市内の全小中学校全校を訪問させていただくことからスタートしました。

それぞれの学校の取り組みや抱える大変さ、巡回相談でかかわったお子さんへのその後の支援についてなどをうかがうことができ、実りある学校訪問になったと考えています。

訪問した際、あたたかい労いのことばをいただくこともあれば、巡回相談の進め方などについてご意見をいただくこともありました。ひとつひとつのことばを今後の巡回相談に活かしていきたいと思っています。急な学校訪問にも関わらず、ご協力いただき、ありがとうございました。

座席・教室のレイアウト

=教室をひと工夫=

今回の特集は、子どもたちを支える皆さんの「より良いものをつくっていききたい」という気持ちを少しでも応援したいという願いからスタートしました。もちろん、座席を移動したり掲示物を片付けたりしただけで、すぐに何か解決するというわけではありません。むしろ、座席のことや教室のことを一つのきっかけにして、この先『どうしたら過ごしやすくなるのか、やりやすくなるのか』ということと一緒に考えてもらうことが、大きなねらいです。

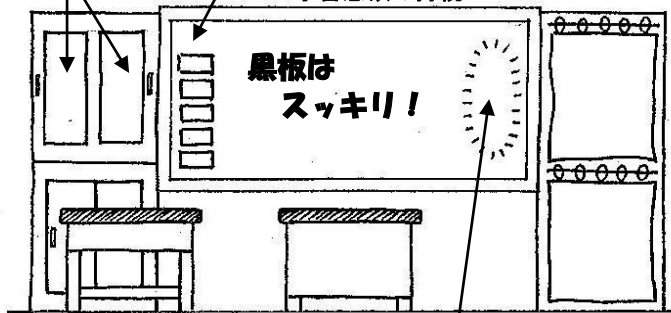
ほんの些細なことでも「もしかしたら彼らの行動に影響を与えていることがあるのではないか」という視点をもって眺めていくと、いつのも教室がちょっと違ったものに見えてくるかもしれません。そんな気持ちで、次のページをめくってみてください。

もし、もっと新しいものが見えてきましたら、ぜひ教えてください。

教室をひと工夫!!

○目かくしを兼ねて
クラスルールや目標を
貼ってみては?

○学習の流れを貼り、
終わったら取って
いく方法もある
=学習意欲の持続=



視覚的に安定を 感じさせる空間づくり

- ・ゴミのない床
- ・整然と並んだ机
- ・破れやはがれの無い
掲示物

△日付・日直などの
情報は横の壁に…
書くのが苦手な子が
いたら、文字カード
を使ってみては?

黒板は、学習のため
のスクリーンとして

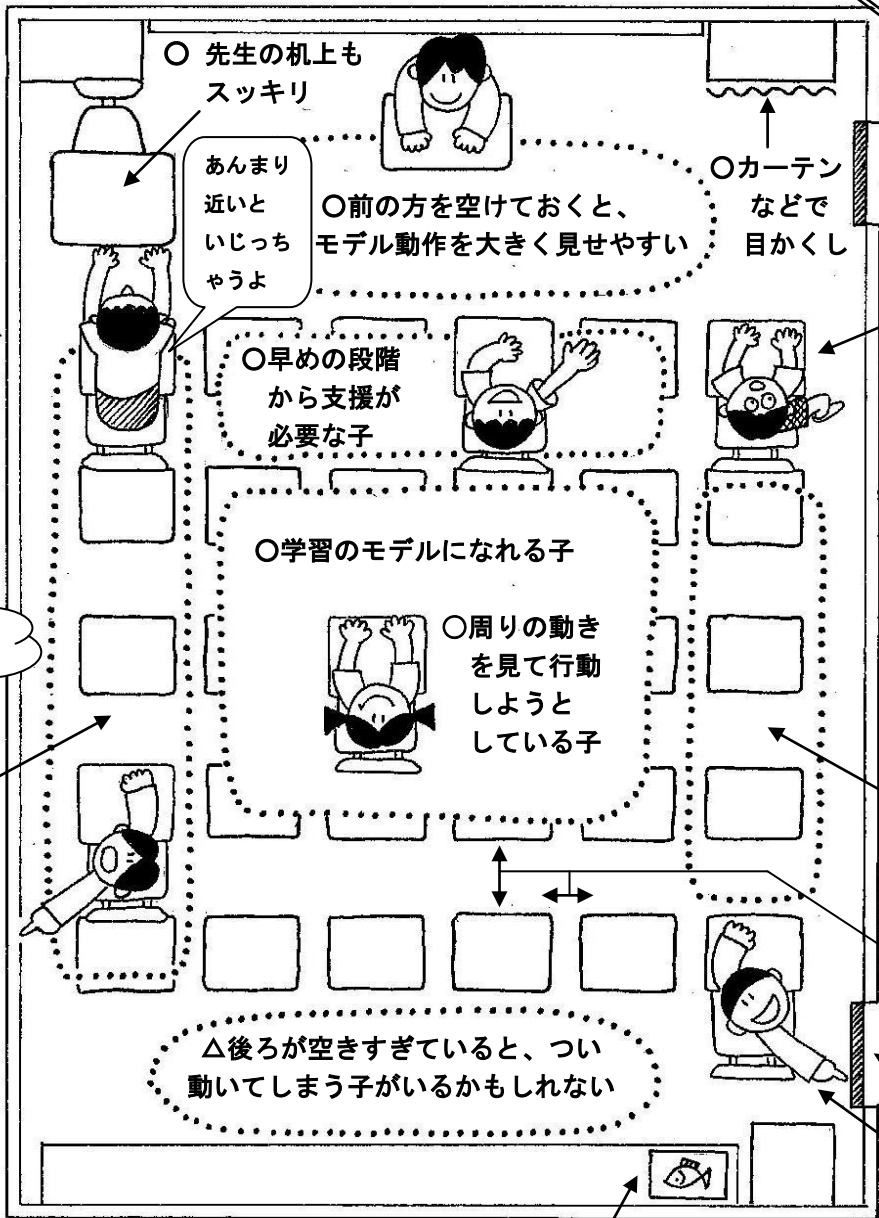
とにかく、 刺激になりそうなものを減らしてみよう

△刺激に弱い子には、やっぱり不向き?
(外からの声、人の動き、カーテンのゆれなど)

影響し合う子が、お互いの視野に 入りにくい位置をさがしてみることも クラスの安定を図るための一つの方法

学習中、余計な動きや反応を減らすために…

- ・自分の机にゴミバッグ(紙袋)
- ・すぐに(小声で)声かけできる(近くの)座席
- ・先生も移動しやすいスペースづくり
- ・動線に、荷物を置かないように

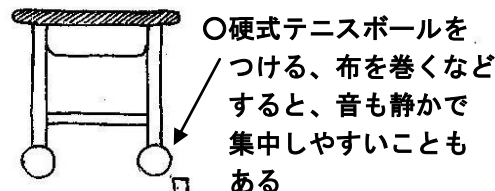


メリットがあれば、必ずデメリット
もあります。それぞれの状況を考
え、『今、学級で必要な環境づくり』
を行いたいものです。

「必ずうまくいかせなくては」と考
えず、「ひよっとしたらうまくい
くかも?」というくらいのポジ
ティブな姿勢…それも特別支援につ
ながる考え方の一つだろうと思
います。

△多動な子には不向きかもしれない
(ドアが開いていれば廊下が気になる)

前や端の席の子は、最初に やることも多くなるので、 そうしたことにも配慮を…



○床の目印も、
整然とした机の並びにつながる

○身体の大きな子や刺激に弱い子には
比較的よい場所か?

○机の間を空けることは、
お互いのパーソナルスペースの
確保にもつながる面もある

△ドアや窓のきしみも
マイナス刺激になる可能性

△目につきにくいし、
外にも出やすい?

○: プラスになりそうなこと
△: マイナスになりそうなこと

△水槽のポンプや扇風機の
音でさえ気になることもある

職員の紹介

教育センター 特別支援教育担当は、今年度は以下の職員8名で巡回相談を行っていきます。

- 心理士 齋藤・中村・原田・森本（市嘱託員）
- 研究主事 朝倉・上杉・小井塚・森田（市立小中学校 管理職経験者）



人事異動に伴い、新しく入りました4名を紹介します。今年度もどうぞよろしくお願ひします。

<p><研究主事>朝倉 正教（あさくら まさのり） 前職：上柚木小学校 好きなこと：食べ歩き、史跡めぐり 好きな言葉：温故知新 先生方へのメッセージ：価値観多様化の中、保護者と先生方と一緒に子どもの将来を考えていきたいと思ひます。</p>	<p><研究主事>上杉 紀夫（うえすぎ のりお） 前職：浅川中学校 好きなこと：スポーツ、読書、温泉 好きな言葉：夢、希望 先生方へのメッセージ：支えを取り払っても進んでいける「真の支援」を目指します。</p>
<p><研究主事>小井塚 洋一（こいづか よういち） 前職：宮上中学校 好きなこと：旅行、野球観戦 好きな言葉：Ever onward（限りなき前進） 先生方へのメッセージ：立場が変わって学校に訪問します。よろしくお願ひします。</p>	<p><研究主事>森田 芳博（もりた よしひろ） 前職：高嶺小学校 好きなこと：ゴルフ 好きな言葉：ありがとうございます 先生方へのメッセージ：子ども達の成長する学び方を一緒に取り組みましょう。</p>

巡回相談のご案内

市立小中学校に在籍する児童・生徒のうち、特別な支援が必要と思われるお子さんの状況を、心理士・研究主事等が授業観察や聞き取りを通して発達の特性的見立てを行います（障害の判定をするものではありません）。そして、学校内において、児童・生徒への支援をどのようにしたらよいか、先生方と一緒に考えていきます。

巡回相談の申し込みは、管理職または特別支援教育コーディネーターから電話でお願ひします。巡回相談担当の職員が、児童・生徒の様子や学校の求めていることなどを聞き取ります。申し込み時に聞き取ることや、巡回相談の流れについては、学校訪問時にお渡しした資料をご覧ください。



電話受付 月～金 8:30～17:00

TEL 664-1615 または PHS[キョウイクセンタートクベツシエン2]